

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)			区分
4	人事評価事務事業(人事管理事務事業)			新規 拡大 継続
会計区分	款	項	目	所管
一般会計	2	1	5	総務局 人事部 人事課
事務事業の位置付け				
しあわせ倍増プラン2009	番号	12-3	事業名	適材適所の人事配置
総合振興計画新実施計画	事業コード	30009	事業名	能力・業績を重視した人事制度の運用
根拠法令等				
予算要求事業の概要				
内容	人事評価は、原則として全職員を対象としており、能力評価と業績評価の2本立てで行い、それぞれの評価結果を合計して総合評価を決定するものです。能力評価においては、職務遂行能力の発揮度と執務姿勢を、業績評価においては、「目標による管理」の手法等により目標の達成度や担当する業務の遂行度を評価し、評価結果を人材育成・人事配置・給与処遇へと活用することとしています。			
目的・目標	<p><目的> 複雑化、多様化、高度化する行政需要に対応できる人材を育成するとともに、職員的能力・士気を最大限に引き出し、成果・業績を継続的に上げて本市の組織目標を達成することにより、市民生活・市民満足度の向上を図るものです。</p> <p><目標(平成22年度末)> 1 人事評価結果を活用した人事配置を実施します。</p>			
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)> 1 人事評価結果の人事処遇等への反映方法の検討</p> <p><課題> 1 制度を安定・定着させるとともに、評価の公平・公正性、客観性、納得性、透明性を高めていくために必要な制度の改善・見直し 2 評価者のスキルアップ(評価の適正化) 3 評価結果の人事処遇等への反映方法の決定 4 電算システムの導入</p>			
今後のスケジュール	<p>・平成20年度～21年度 制度運用、評価者等研修の実施 人事処遇等への反映方法検討 電算システム導入に向けての調査検討</p> <p>・平成22年度 制度運用、評価者等研修の実施、電算システム開発</p> <p>・平成23年度以降 制度運用、評価者等研修の実施、電算システム導入</p>			

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考
平成21年度	当初予算	6,001 <積算内訳> 1 評価者研修及び被評価者経費 6,001
	財源内訳 ① 一般財源	6,001
平成22年度	当初予算要求	49,776 <積算内訳> 1 人事評価等システム開発経費【新規】 44,408 2 評価者研修経費 5,368
	財源内訳 ① 一般財源	49,776 <要求理由> 能力・実績主義に基づく人事管理の柱である人事評価制度の円滑な運用を行うため、評価者研修及びシステム開発経費を要求するものです。
	財政局長査定	5,368 <査定内容> 1 人事評価等システム開発経費【新規】 0 2 評価者研修経費 5,368
財源内訳 ① 一般財源	5,368 <査定理由> 人事評価等システム開発経費については、内部管理事務であることから現行の実施体制を維持することとし、予算化を見送りました。	
市長査定	5,368 <査定内容> 同上	
財源内訳 ① 一般財源	5,368 <査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。	